

製品名: PARP2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84198**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	66 kDa

抗原情報

遺伝子名	PARP2
別名	pADPRT-2; hPARP-2; ADPRT2; ADPRTL2;;PARP 2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9UGN5
免疫原	ヒト PARP2 由来の合成ペプチド

背景

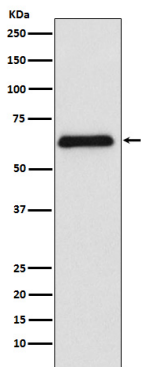
タンパク質のポリ ADP リボシル化を媒介し、DNA 修復において重要な役割を果たすポリ ADP リボシルトランスフェラーゼ。タンパ

ク質のグルタミン酸、アスパラギン酸、またはセリンの ADP リボシル化を媒介します。NAD⁺の ADP-D-リボシル基が標的残基のアクセプターカルボキシル基に転移され、さらに ADP-リボシル基が末端アデノシン部分の 2'位に転移され、平均鎖長が 20~30 単位のポリマーが形成されます。

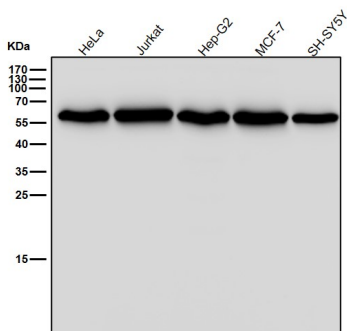
研究分野

-

画像データ



Raji 細胞溶解物中の PARP2 発現のウエスタンブロット分析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。